

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 えーるくらぶ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0%	100%	0%	・利用のメンバーによっては狭く感じる時もあります。その際は活動内容などで狭く感じないように工夫しています	・活動内容などで狭く感じないように工夫していく。
	2	職員の配置数は適切である	0%	40%	60%	・隣接しているふくみ苑の職員に見守り等応援要請をして安全に留意しています。	・安全を最優先に必要なであれば隣接しているふくみ苑に応援要請をし人員を確保する。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	0%	60%	40%	・終業時に本日の振り返りやその都度申し送りをお互いに行っている。	・ミーティングの時間の確保につとめ、業務改善等行っていく
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%		今後も必要に応じてアンケート調査をおこなっていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%		今後も自己評価をホームページにて公開していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%	100%		※第三者による評価を行っていない
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	60%	40%	0%	ふくみ苑の全体研修に参加している	えーるくらぶ内でも嘔吐対応など必要に応じて部署内研修を行っている
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	年度初めにアセスメントのとりなおしを行っている	今後も適切にアセスメントを行いニーズや課題を分析した上で計画を作成していく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	次月の利用確定を考慮し、チームで活動の立案を行っている。	今後もチーム全体で活動の立案を行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	前月の活動内容を考慮し、活動内容が重ならないように工夫している。	利用時の理解度を深めるために毎月行っている活動プログラムもあるがマンネリ化しないよう季節感を大切にしながら活動の立案を行っていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	40%	60%	0%	食事場面や歯磨きなど休日や長期休暇ならではの課題を設定している	職員の経験年数に応じてきめ細やかさに差が生じているため、お互いにアドバイスをしあいながらむらのない支援を行っていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	60%	40%	0%		現在利用状況によっては集団活動をメインに行っているため、個別活動も組み合わせで行えるよう業務改善を行う
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	60%	20%	20%	その日のリーダー業務を務める職員がそれぞれのスタッフに打合せを行っている	業務的に全員揃っての打ち合わせが難しいため、今後もその日のリーダーが責任をもって職員それぞれに打合せや役割等を伝える
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	20%	20%	その日のリーダー業務を務める職員がそれぞれのスタッフに申し送りを行っている	業務的に全員揃っての打ち合わせが難しいため、今後もその日のリーダーが責任をもって職員それぞれに振り返りや申し送りを行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%	その日のリーダー(記録係)を決めている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	60%	40%	0%	必要に応じてモニタリングを行っている	基本は年度初めにモニタリングを行っているが、今後も必要に応じてモニタリングをおこない、見直し等を行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	60%	40%	0%		
関係機関や 保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	事前に事業所内で担当者会議対象児童の話し合いを行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%	系列の事業所内でも学校の行事予定について連絡を取り合っている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	60%	40%	看護師が常駐していないため、医療的ケア児の受け入れに関しては隣接しているふくみ苑看護に必要請等体制を整えている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	0%	保護者や相談支援事業所を通して情報共有を行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80%	20%	0%	支援会議や保護者を通して情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	0%	系列の児童発達支援センターと連携している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	80%	20%	振替休日の日などに児童館へ外出している。	安全上利用児と職員の配置を考え、現時点では振替休日など限定された日しか児童館などへ行けていない為、ボランティアを積極的に受け入れるなど人員を確保し、機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	20%	80%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%	0%	連絡帳や送迎の際に状況など情報交換おこなっている。	今後も送迎時や連絡帳のやり取りなどで適宜情報交換をおこなっていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	80%	20%		必要時助言などの支援をおこなっていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%	契約の際などに説明をおこなっている。	今後も契約時や必要に応じて支援内容や利用者負担などについて説明を行っていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	80%	20%	0%	連絡帳などを利用して適宜おこなっている	今後も必要に応じて助言等をおこなっていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40%	60%	0%	祝日などに親子行事等企画している	現時点では祝日のみ親子行事をおこなっていることもあり、参加者が少ないが今後も継続して機会をもうけていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%	0%	苦情などがあった際には苦情受付窓口担当をまじえて迅速に対応おこなっている。またリスクマネジメント委員会に取り上げることで今後の対応・対策を考えている。	苦情があった際は苦情受付窓口担当をまじえて迅速に対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	40%	60%	0%		今後も定期的に機関紙を発行していく。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	契約時に個人情報に関するアンケートを実施し、職員に周知している	個人情報に関するアンケートを元に個人情報に関して厳重に管理をおこなっている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	80%	20%	0%	必要に応じてツールなども利用して意思の疎通や情報伝達をおこなっている	今後もツールなども利用しながら意志の疎通や情報伝達をおこなっていく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	40%	60%		えーるくらぶ単独ではおこなっていないが、隣接しているふくみ苑の行事等で地域住民の方と接する機会を設けていく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20%	80%	0%	適宜防災委員会や安全衛生委員会に参加し対応マニュアルの策定をおこなっている	保護者への周知に努める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	40%	60%	0%	定期的に避難訓練に参加している	今後も継続して避難訓練に参加する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	虐待防止委員会に参加している。	左記委員会にて話し合われたことを元に部署内でも話し合いを行い周知する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	身体拘束について適宜保護者に説明し、同意を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%		現在食物アレルギーの利用時はないが金沢ふくみ苑の給食・医務課と連携し体制づくりをおこなう
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	リスクマネジメント委員会にて月ごとに事例集を作成している	左記委員会で話し合われたことを元に部署内でも情報共有している。